

ぬ

抜きこんでた 具象画集めし ビュウチ美術館

クレマチスの丘の一隅にあり、20世紀を代表する画家の一人といわれる。パリ出身の具象派画家ベルナル・ビュフエの作品だけを収集し展示している美術館で、昭和48年(1973)の開館である。館内には作品のレプリカ等に触れることができるビュフエこども美術館も併設されている。

ね

ねんごに元締め祀る 芦ノ湖水神社

芦ノ湖水神社は、箱根用水を開いた元締めたちを祀る神社で、上土狩惣ヶ原には、社殿内の石造物(町指定文化財)は、工事と管理のために上土狩に住んでいたと伝えられる元締めたちを供養するために作られた。町指定文化財の脇指は、元締めの一人江戸浅草の町人友野与右衛門のものと言われている。

の

農産は ネギ・柿・メロンに やまと芋

長泉町の愛鷹山丘陵地は、赤粘土質の厚いローム層と表土は黒色の火山灰で覆われている。この土壌は野菜等の栽培に適し、以前は長窪サツマ、スイカの人気があった。その後、白ネギの人气が高まり、現在は町の特産物として、白ネギ、四つ溝柿、長泉メロン、やまと芋等が知られている。

は

萩姫の 伝説残る 牛ヶ淵

長泉北中学校北側の黄瀬川の深い淵を「牛ヶ淵」と呼んでいて、この淵には悲しい伝説がある。ある豪雨の夜、長久保城が武田軍に攻められ落城してしまった。城の萩姫は、数人の兵士や乳母に守られ牛車で城を抜け出したが、濁流渦巻くこの淵に牛車もろとも転落し、命を落としてしまったという。

ひ

広げよう 創作体験 桃沢工芸村

緑豊かな愛鷹山と水清らかな桃沢川に抱かれた元長窪地先に、陶芸、彫刻、木工、竹細工といった創作活動が楽しめる創造体験工房「桃沢工芸村」が平成21年(2009)7月に開設された。大自然の中で新たな発見、創作活動を堪能できる。

ふ

副葬品 昔を偲ぶ 原分古墳

下土狩駅の南、御殿場線と東海道新幹線が交差する辺りに、古墳時代後期の横穴式石室をもつ円墳の原分古墳がある。県東部で最大級の大きさの石室で、中からは金銅製の馬具や大刀飾りなど多くの副葬品が出土した。この古墳は現在、公園として整備され、古墳文化を知ることができる。

へ

平成に 生まれし 駅は なめり 駅

長泉なめり駅は、平成14年(2002)9月7日開業の無人駅だ。平成8年(1996)に長泉町に静岡県立静岡がんセンターの建設が決まり、新駅設置の動きが加速し、御殿場線で21世紀最初の駅として開業した。バス路線やタクシー乗り場も確保され、駅前広場や駅の東西を連絡する自由通路も設置されている。

ほ

奉仕する 心を永久に 梅吉翁

翁は、慶応4年(1868)大和高取藩士、和田竹造の3男として東京に生まれた。後に母の実家三島に移り、12歳の時上土狩米山家の養子となる。ロータリーの奉仕の理想を日本に導入し、東京ロータリークラブを創立し初代会長となる。昭和21年(1946)下土狩で78歳の生涯を閉じた。上土狩に米山梅吉記念館がある。

ま

幻の 滝と呼ばれし つるべ 落としの 滝

愛鷹山麓にある落差約20mの形の良い滝で、渇水期や気象条件に左右され、水がなくなることから「幻の滝」とも呼ばれている。ハイキングコースの中でも最も人気の高い場所である。滝から位牌岳までは、登山道のため登山装備が必要である。滝に行く途中、アシタカツツジやイワタバコを見ることもできる。

み

三島出て 竹原通る 東海道本線

箱根連山は鉄道を建設する上で大きな障害となるため、開業当時の東海道本線は御殿場経由とした。ところが開業後多くの問題が発生し、箱根連山にトンネルを掘ることとなり、昭和9年(1934)12月1日に丹那トンネルが開通した。この結果、東海道本線は現在のように熱海・三島・竹原・沼津を通るルートとなった。

む

昔より 願掛け 祠と 大いちょう

下土狩文教線の通りの名称になっている「大いちょう」の木は、昔から親しまれている。樹齢は不明だが数百年は経つと言われている。巨木で、静岡県の天然記念物に指定されている。根元にある祠は子安神社で、古来から願掛けにより乳を出す神様として、妊産婦の参拝者が多かったと言われている。

め

眼鏡橋 明治時代の 石の橋

眼鏡橋は、明治29年(1896)に竹原地区の久保田川の分流に造られた石の橋である。当時は石でできた橋ということで評判になったと言われている。橋のたもとには、橋の建設に尽力した木村周平を称えた石碑が建っている。